



ちばりは ニュース

2010年5月 発行 第2号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/reha/reha.html>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理 念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



看護局長 あいさつ

Message



看護局長

副看護部長
あらき あきこ
荒木 暁子

ふせ ともし
布施とも子

副看護部長
つかはらのぶえ
塚原信江

看護局は、センター職員のほぼ50%を占める約200名の看護職員がいます。

その屋台骨である教育専任（人材育成部長）の荒木副看護部長と総務・業務担当の塚原副看護部長の二人の絶妙なコラボレーションが看護職員を支えています。

看護局は、対話しながら支援の輪を回して、病棟づくりすることを基本に、7つの看護単位が、看護師長が中心となり、固定チーム制を導入し、患者中心ケアを実践するために取り組んでいます。昨年は、病院機能評価V6の認定を受けるプロセスにおいて、副看護部長を筆頭に、看護師長、副看護師長、スタッフ看護師、生活援助員、看護助手の皆さんの結束力、推進力の大きさを改めて実感いたしました。今年度は、看護局の基盤整備を重点事項にあげ、看護のレベルを表現している重要な看護基準、記録基準などを検証し、より

良いものに、現場で使えるものの改善に取り組んでいきます。看護記録は、自分達がどのようなケアをして、患者さんの状態がどう変化したのかという事実を書くものです。患者さんへのケアは看護局の理念に則って行われるのでケアの内容を書き表すということは、そこに看護局の理念が反映されるということになりますし、センターの理念が反映されるということになりますので大変重要です。

私は、しくみが変わり、意識が変われば現場がよりよく変わることを体験してきました。その醍醐味をぜひ現場の皆さんに体験してほしいと考えています。この大きな看護集団の一人一人が、医療局、福祉局、事務局の垣根を超えて、「何ができるか」「今できることはなにか」を考え行動するとともに、センターの職員として誇りを持ち、スクラムを組んでいけば、福祉と医療の統合された素晴らしいセンターになることでしょう。

人材育成部ができ、地域連携部に今野看護師長が退院支援強化のために配属されました。なんだか新しい風が吹いてくる予感がしませんか。

患者様の写真については、掲載の了解を頂いています。

ちばりはニュース第2号は看護局の紹介の特集です。

看護局の理念

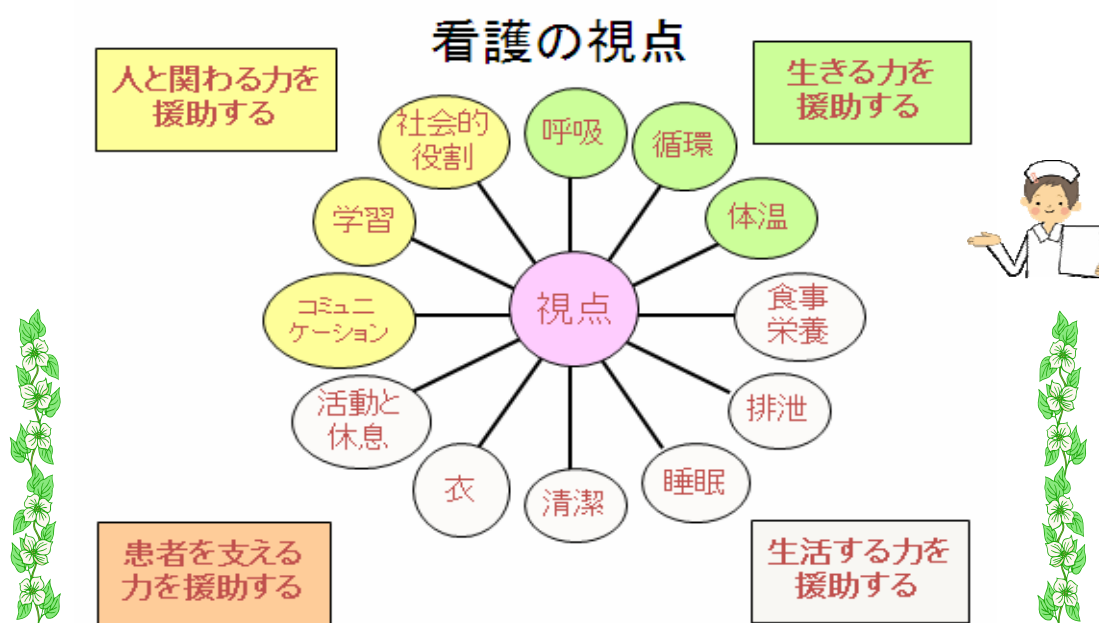
私たちは

- 障害を持つ人々の権利を尊重し、安心できる療養環境を提供します。
- 障害を持つ人々の主体性を尊重し、自己決定を支援します
- 一人一人のQOLの向上を目指して、心のこもった看護に努めます。



リハビリテーション看護の可能性：

看護師は患者さん自身の健康を守り増進しながら「やる気」を引き出し、患者さんの安全基地である家族を支えます。



平成22年度4月から新しい部署に看護師が配属されました。

人材育成部長 あらき あきこ
副看護部長 荒木 暁子

地域連携部地域支援室 こんの まゆみ
入退院調整担当師長 今野 真由美

「利用者のために、
そして自分自身のために
学ぶことをサポートします。
人材育成部。」

人材育成部は、今年から立ち上がった新しい部署です。

私たちが専門職として、組織人として、学ぶことで、利用者の皆さまへ、より質の高い医療・ケアが提供でき、リハセンターの機能が発揮できることが大切です。

今年は、研修などを実施しながら、リハセンターの教育や研究、実習受入れの現状分析を行い、今後の課題を絞りこんでいきます。

本年度より、地域連携部地域支援室に配属になりました。

入院された患者さんが、入院中から在宅に向けての支援が行われるようソーシャルワーカーの人と協同し退院調整、退院支援に取り組んでいきたいと思います。



働く仲間の思いやりが循環する職場を目指す、ちばりはの看護師たち

当院平均在職年数は10年です。

新人さんから、中堅さん、子育てさん、全力投球さんなどなど・・・さまざまな発達段階の看護師が人生体験を看護に活かし、人と人のふれあいを楽しんでいます。

さわやかフレッシュナース

●ちばりはにも、新卒新採用の看護師を5人迎え入れました。
真っ白いファイルのポートフォリオを抱えながら、現在は
新任職員研修→初期全体研修→今年から導入したローテーション研修
と、キャリア開発支援研修に沿って進行中です。
学校の実習とは違った初めての体験に毎日が緊張の連続ですが、患者
さんたちと触れ合う喜びを感じながら日々研修進行中です。



メンズナース紹介

ちばりはの男性看護師は、新しい仲間も増え4月で19人になりました。

男性看護師だからこそ関われる事・・・
沢山このちばりはにはあります。

時には、飲ミニケーションを図りながら愉快な仲間達づくりに、一役も二役も担っています。

笑い療法士：看護師 やのくら ともお 矢ノ倉知雄

私のモットーはやはり笑顔です。にもかかわらず笑う...どんな状態でもやはり笑うことでその場の雰囲気や和み、周りが明るくなります。みなさんも恥ずかしがらずまず手を振り合しましょう。そして、大きい声を出して笑いましょう。それは、全体に広がって笑顔最高のリハセンター作りが私の使命です。笑い療法士として更にパワーアップ中です。

看護師のオヤジ頑張る：副看護師長 おしみ ともあき 押見知昭

自宅では主夫業を中心に活動させて頂いております。けっこう奥深さを感じる今日この頃...

これからは家事をこなせる男性が時代の先取りでは...？。



働くお母さん

働くおかあさん：看護師 たかいし まさこ 高石雅子

2歳の子供がいます。院内保育所と家族の協力を得ながら、3交替勤務をしています。
重度心身障害者の方々を看護させていただく事が大好きで、利用されている方々の小さな変化（大きな変化）を発見し、ともに喜ぶ事に、はかりしれないやりがいを感じています。

メンズナース達に負けてられませんし・・・。
そして・・・娘の成長の喜びも感じながら！！



イベントのご案内

①高次脳機能障害 リハビリテーション 千葉懇話会の開催

第6回 高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会

【日時】平成22年7月15日(木)18:30開始予定
【会場】千葉市民会館 小ホール
(JR千葉駅から徒歩7分 千葉市中央区要町1-1)

【参加費】500円
【対象者】医療機関スタッフ等

講演
●高次脳機能障害に対するアプローチ
“集団訓練を通して見えてくるもの”
講師 神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科 青木 重陽 氏

◆当日のタイムスケジュール

18:00	受付開始
18:30	開会 挨拶
18:35	講演: 青木 重陽 氏
19:45	質疑応答・意見交換
20:00	閉会

◆お問い合わせ◆
千葉リハビリテーションセンター地域連携部相談室 担当 森戸
〒266-0005 千葉市緑区菅田町1-45-2
TEL 043-291-1831(内線177) Fax 043-291-1847

②公開講座の開催

「脳卒中のリハビリテーション」

日時 平成22年7月17日(土)
開場 10:00
場所: 千葉リハビリテーションセンター

午前の部 10:40~12:10
『在宅脳卒中患者へのアドバイス』
午後の部 13:15~14:15
『千葉県の脳卒中リハビリテーションを考える』
～千葉県内各地域医療連携/ICと千葉県脳卒中リハビリテーション推進事業の紹介～

特別講演 14:30~16:00
『脳卒中リハビリテーションの新展開』
～中枢神経可塑性への挑戦～
里宇 明元 氏
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授

主催: 千葉県千葉リハビリテーションセンター 共催: 千葉県リハビリテーション推進センター
お問い合わせ・申し込み先
〒266-0005 千葉市緑区菅田町1-45-2 千葉県千葉リハビリテーションセンター地域連携部
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1847

敷地内禁煙の お知らせ

当センターでは、利用される皆さまの健康を守るため、4月1日より駐車場などを含めた敷地内全てを禁煙とさせていただきます。

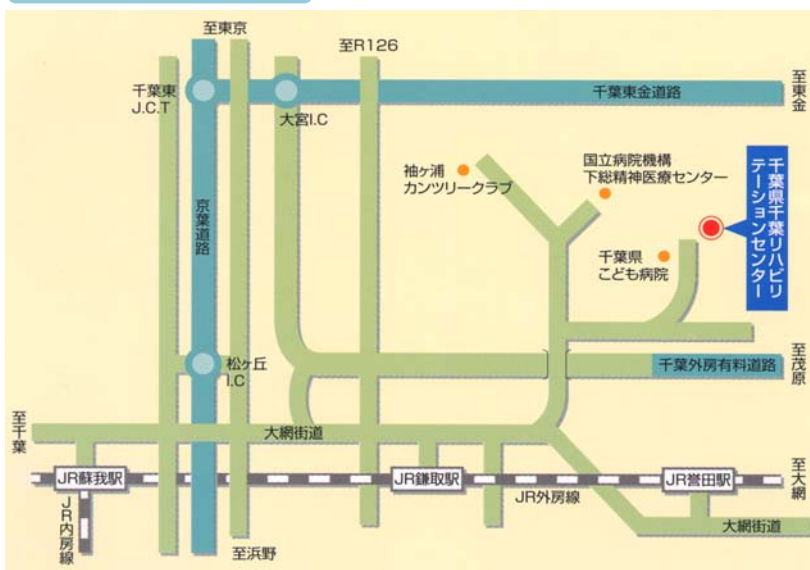
この措置は、利用されるご本人、ご家族やお見舞いの方や職員を含めた全ての方が対象となります。

これを機会に一人でも多くの方が禁煙の必要性を理解し、より健康的な生活を始めるきっかけとしていただければ幸いです。

皆さまの
ご理解と
ご協力を
お願いいた
します。



センター案内図



車の利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バス

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内(センター⇄JR鎌取駅 循環運行)

※より便利にご利用いただけるよう、4月19日付で一部増便とともに運行時間を変更しております。

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
(専用のバス停はございません)
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス(黄色)・・・2名
マイクロバス(水色)・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。